

# 令和4年度大学院地球社会統合科学府

## 修士課程（夏季）入学試験

### 入学試験問題

#### ④ 経済学

##### 注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、全ての解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

次の(問1)から(問4)までの中から2つを選択し、問題番号を明記した上で解答しなさい。ただし、問題ごとに異なる解答用紙を用いること。

(各問題 100 点、合計 200 点満点)

(問 1) 2020 年の実質 GDP 成長率をみると、日本は前年比マイナス 4.7%であった。これに対して、フランスは前年比マイナス 7.8%、イタリアは前年比マイナス 8.9%、イギリスは前年比マイナス 9.9%と、日本よりも大きな落ち込みを見せている。フランス・イタリア・イギリスの中から1ヶ国を選び、日本よりも成長率の落ち込みが激しかった原因について、その国の産業構造にも言及しながら説明しなさい。

(問 2) 明治中期の日本では、最後の大蔵卿であり最初の大蔵大臣でもある松方正義によって銀本位制が導入されたが、それに先立って緊縮財政が実行されている。なぜ、通貨制度を確立する準備として財政政策が必要であったのか、銀本位制のメカニズムにも言及しながら説明しなさい。

(問 3) 昨今、MMT 理論(現代貨幣理論)が話題となっているが、多くの経済学者が反対意見を述べている。MMT 理論の概要について紹介するとともに、それを導入した際にどのような問題が発生すると考えられているのかを説明しなさい。

(問 4) 現在の日本では、高度経済成長期と同じような高成長を再現することは非常に難しいといわれる。高度経済成長期の成長のメカニズムについて、高成長を実現させた当時のボーナス条件にも言及しながら説明しなさい。